



No.22

世界を感動させる政治を柏から。

山下洋輔新聞

柏市議

無所属

40歳

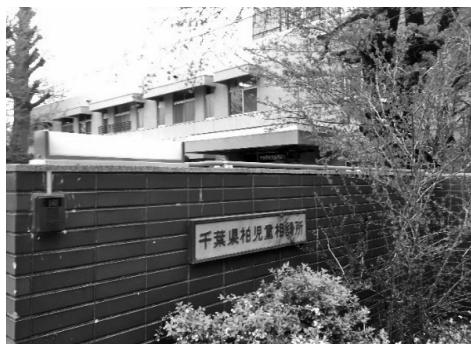
ボランティア募集！

山下洋輔は、クリーンな政治を目指しています。皆様の力が必要です。この新聞を配布してくださる方を募集しています。散歩がてら、ご近所だけなど、何枚でもかまいません。地域をよりよくするため、一緒に活動しましょう。

2019年3月28日

3月の議会では、公民館の改修、幼児教育無償化と幼児教育の質の向上、コミュニティ・スクールや相談体制など学校教育、がん医療費助成制度、ごみ置き場、水道事業について質問しました。

○ 児童相談所設置と再発防止—野田市での児童虐待事件を受けて



議会にて、柏市長は、児童相談所の設置を具体的に検討すると発表。また、議員提出議案として「児童虐待防止へのさらなる対策を求める意見書」を国と千葉県に提出することを可決しました。

柏市根戸に千葉県が設置する柏児童相談所があり、東葛地域5市を管轄しています。特に、東葛地域は相談件数も多く、十分な支援ができていません。児童相談所の職員数が足りていません。このような事件は、どの地域で起こってもおかしくない状況です。

ただ、児童相談所の設置で解決する問題ではありません。児童相談所は、一時保護など介入的な支援など、子どもの命にかかる案件に専念する。行政は、養育や育児といった初期の対応や発生予防、自立支援など連携を強化する。そして、親の不在や虐待などで家庭で暮らせない子供を希望した世帯が預かる仕組みである里親制度の充実やシェルターなど保護施設の支援にも、力を入れていくべきです。

二度とこのような事件が起こらぬような体制と社会を築いていくために、議会も行政も本気で取り組んでいきます。

○ 柏駅前のまちづくりとそごう柏の跡地問題

そごう柏閉店の発表から3年。そごう駐車場跡には、マンション建設工事が始まっています。しかし、本館跡地は、いまだに先が見えません。柏市としても具体的な行動が必要と考えます。

公・民・学が連携したまちづくりの拠点である柏アーバンデザインセンター(UDC2)が柏駅周辺基本構想を策定し、商業から「住みやすい街」への転換も示されています。

柏駅前には市有地はほとんどなく、民有地には建物が所狭しと並び、新しく何かを作る余地が少ないことが課題です。そこで柏駅前での建て替えにあたって、緑の空間などを生み出す仕組みを、柏市として作ることを議会でも提案してきました。

道路を車から人のために転換し、道路空間を広場やオープンカフェへと活用していく。屋上空間や路地裏の魅力を引き出していく。その中心には、図書館がある。そんな柏駅前を、私は描いています。

山下洋輔のプロフィール

1978年4月生まれ。40歳。

東葛飾高校卒業。早稲田大学教育学部卒。同大学院修士課程修了後、土浦日大高校にて教諭。早稲田大学大学院教育学研究科博士課程を単位取得後退学。

「柏まちなかカレッジ」学長として市民大学を主宰し、地域の教育・文化を盛り上げている。

【趣味・特技】歴史散策、剣道（三段）、クレヨン絵画、カポエイラ、三線、バイク、JAZZ鑑賞
【家族】妻、長男（2014年生まれ）、長女（2017年生まれ）

※タイトルのイラストは、『ひとりごはんの背中』（講談社）で著者の能町みね子さんの取材を受け、描いて頂いたものを使用しています。

柏まちづくり俱楽部開催（毎月最終木曜日 19時～）

参加ご希望の方は、ご連絡ください。
連絡先は裏面に記載しています。

○ 公民館・教育福祉社会館の改修工事－居場所づくり×公共施設再編×空き家・空き店舗対策

4月から教育福祉社会館の改修工事が始まります。利用者は活動場所を失い、解散を決断する団体も出ています。改修によって市民が生涯学び続けられる活動を活発にしていくどころか、学びを断念させてしまっています。

改修工事後は、子ども、子育て世代、障がいを持つ方、高齢者が集い、高齢者の力を子育て支援に生かすなど、他世代交流の場が構想されています。私も賛成であり、期待するところですが、構想倒れにならぬよう、議会で質問しました。

現在、囲碁サークルを生きがいに毎日集まっている方々がいます。囲碁を通して、介護予防と子どもの教育の多世代交流を実現することもできるはずです。昨秋、緑綬褒章を受賞された「柏おもちゃ図書館かたつむり」は、障がいのあるお子さんもないお子さんも共に遊び、交流し、育ち合う貴重な場となっています。障がいを持つ子を育てる保護者の方の交流や情報交換の場として子育て支援の役割も果たしています。描かれた構想が実現するために、現状の資源を活かしていくべきです。



活動可能な場所と活動団体の状況を調査すれば、活動場所の絶対量が不足していることは明らかです。以前から、公民館の原点でもある青空公民館の精神に立ち返り、会議室や公共施設だけではなく、街中や住宅などを活動場所として開拓していくことを提案してきました。にもかかわらず公民館は、貸し館から脱却できなかったことが、今回の課題の根底にあると考えます。

今回、活動場所の絶対量が不足している現状をふまえ、空き家や空き店舗を柏市が借り上げ、改修中の活動場所や居場所として市民に提供し、市民団体が地域に根ざしていく支援をしていくことを議会で提案しました。「居場所がない」ことは、現代社会の課題です。

改修期間中に、地域に多様な居場所を育て、リニューアルされた中央公民館・教育福祉社会館は、柏市全体の活動のハブとして機能していくことを期待しています。

【写真】私の意見は、『月刊公民館』や『社会教育』でも特集されています。

○ 柏市でコミュニティ・スクールが実現！-地域が教育を支え、教育が地域を支える

私が議員に就任してからずっと、生徒、教員、保護者、地域が一体となって学校を運営する仕組みであるコミュニティ・スクールについて質問してきました。今回、ついに柏市でも実施されること、大いに期待しています。

児童・生徒にとっての世界が、学校関係に限られてしまうというのが、これまでの日本の特徴と言われてきました。地域の多様な大人が、学校に入ることにより、児童・生徒が複数の目で見守られ、児童・生徒の世界が複数出来ることで、安心感が生まれます。

小学校に、保育園や住民組織、福祉ボランティア、行政機関、住宅協同組合など、様々な組織が一つ屋根の下で協働し、相乗効果を生み出す学校を中心とした複合施設が、世界の潮流になりつつあります。小学校に地域で活動する人材を取り込み、地域コミュニティの中心として、地域一体となって子どもたちを育む柏市となるよう、引き続き、働きかけていきます。

山下から一言

児童相談所の件で、全国放送で私のブログ記事が引用されました。連日、メディアからの電話が鳴り、取材を求められました。マスコミうけの良いコメントではなく、社会が少しでもより良くなっていくような発言を心がけています。

連絡先 TEL:04-7170-0668 FAX:03-6745-9416(※eFaxを使用) Mail: info@y-yamasita.com

以下、山下の活動や考えたことを報告しています。山下の日常の記録です。ご感想やご意見もお寄せ下さい。

[twitter] @yosukeyma [facebook] http://facebook.com/yosukeyma [HP] http://y-yamasita.com(ブログほぼ毎日更新しています!)